

BIZCOLI TALK(特別編)

2021年3月18日(木)
18:30~19:30

※ WEBでのライブ配信のみとなります。
事前申込みが必要です。



九州経済調査月報12月号でご寄稿いただいた九州大学名誉教授 小松 利光氏より、レポートをもとにお話しいただきます。

九州における 豪雨被害の今後のリスク ～今は九州受難の時代の始まりなのか～

昨年7月の九州豪雨災害では、スケールの大きな線状降水帯が、球磨川や筑後川の流域全体を覆うような形で大量の降雨をもたらし、甚大な洪水災害を引き起こした。近年地球温暖化の進行とともに線状降水帯が巨大化してきている。

南北に細長い九州は脊梁山脈である九州山地が分水嶺となつて降った雨は東西方向に流下する。そのため九州の一级河川の流域は東西方向に細長くなっている。それで流域全体と東西に細長い線状降水帯が重なることで発生する大洪水の頻発の可能性が高まっている。昨年の球磨川豪雨災害と同様の大水害が今年九州の河川でまた発生しても不思議ではない。

今後、九州がその位置と地形の故に直面する甚大な豪雨災害の脅威について今警鐘を鳴らしておきたい。

講師：小松 利光氏 九州大学名誉教授



九州大学名誉教授、防災学術連携体幹事、H24九州北部豪雨災害土木学会緊急調査団長、日本学術会議会員、日本工学会副会長、国土交通省九州ダムフォローアップ委員会委員長等を歴任。災害に対する強靱な地域づくり、社会資本整備手法などについて研究、防災と環境が融合できる適応策として小規模流水型(穴あき)ダム群のネットワーク化などを提唱している。

参加費

賛助・BIZCOLI 会員：無料
一般：1,000円 (※クレジットカード決済のみ)

定員

50名(定員になり次第締切)

締切

3月17日(水) 13:00 ※事前のお申し込みが必要です。

お申し込み

九経調ホームページ (<http://www.kerc.or.jp>) よりお申し込みください。
注) ZOOMによるWEB限定のセミナーとなります。インターネットを通じて開催します。
BIZCOLI会場ではございませんのでご注意ください。

- ・お申し込みいただいた方へ、**参加用 URL** がついた登録完了メールが返信されます。
有料(一般)の方は、クレジットカード決済後の返信となります。
- ・資料がある場合、開催時間1時間前に登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。

- ※1: ネット配信サービス「ZOOM」にてライブ配信致します。事前のアプリインストール(無料)を推奨しますが、それが難しい方は、WEBブラウザ(Google Chrome)からご参加ください。
- ※2: 安定したWi-Fi環境下でご視聴ください。
- ※3: 参加者の映像・音声・お名前などは表示されません。
- ※4: 状況により、中止となる可能性があることをご承知おきください。



お問い合わせ：九州経済調査協会(担当：牟田・平田)
TEL：092-721-4909 E-mail：bizcoli@kerc.or.jp

主催：公益財団法人九州経済調査協会 後援：九州水フォーラム2020実行委員会

BIZCOLI
BIZ COMMUNICATION LIBRARY